

研究課題名 (研究番号)	薬局独自で作成した副作用評価シートを用いた S-1 処方患者における副作用確認 及び有害事象把握の検討 (2025-029)
当薬局の研究責任者 (所属)	上運天 玲子 (日本調剤 宮大前薬局)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	がん薬物療法は外来化学療法が主流となり、薬局薬剤師には副作用マネジメントや 服用アドヒアランス向上、病院との連携が求められています。しかし、当薬局では治療レ ジメン等が把握できず、副作用評価や把握が不十分になる可能性があることから、薬 局独自に副作用評価シート (SS) を作成し、投薬時に活用してきました。今回、副 作用の確認件数や有害事象の把握件数にシート活用が及ぼした影響を検討し、その 有用性を評価します。
調査データ 該当期間	2023 年 3 月～2024 年 8 月
研究の方法 (使用する試料等)	● 対象となる患者さま 期間中に当薬局で S-1*の処方を受けた患者さま (2024 年 8 月時点で初回処方か つ 1 回限りの処方箋受付の場合は除きます) *S-1 は、テガフル、ギメラルシル、オテラルシルという 3 つの成分が配合された内服薬です ● 利用する情報 薬歴や副作用評価シートで確認した内容等の診療情報等を使用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致しま す。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定でき る個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間 2025 年 4 月 30 日 まで